

# 避難所の快適な生活空間について～段ボールベッドの利用～

気仙沼高校 2年4組20番

## 目的

災害時(津波、大地震)の避難所で  
快適に過ごすためにできることを  
明らかにする。

## 快適な避難所

→ストレスがかからず、災害関連死を防ぐことができる場所

## 背景

### 災害関連死が多い

東日本大震災での死者

→約24%(3784人)が災害関連死

→そのうち約90%が60代以上の高齢者

原因:寒さ、ショック・疲労など

参考文献①、②

## まとめ

- 災害発生前に必要なもの、ルールの作成などの準備ができる
- 段ボールベッドを利用することで快適な空間に近づける

ことが明らかになった

## 今後の展望

- 段ボールベッドのデメリットを改善
- 風呂、トイレ、LGBTへの配慮などに関する課題調査、対策考案

## 調査結果

### 調査 I

### 市役所へのFW

(気仙沼市役所 危機管理課 Sさん)

- 自主防災組織(自治会が運営)
- 避難所でのルール(避難者がつくる)
- 毛布、水、発電機など  
→基本は自分で用意してほしい

### 《避難所で気を付けること》

- ・衣食住→大人のカモ必要
- ・プライベート→段ボールベッド
- ・疲れ→段ボールベッド
- ・LGBT→知識が必要
- ・子どもの遊び場

〈参考文献〉

①河北新報(kahoku.news)

「震災関連死 宮城・石巻の死因、27%が肺炎 9割が高齢者、劣悪な避難所生活の現状」.最終閲覧日 2022年1月20日.

②復興庁(reconstruction.go.jp).最終閲覧日 2022年1月20日.

③さんすい防災研究所(sansuibousai.com).最終閲覧日 2021年9月17日.

### 調査 II

### 段ボールベッドについて

#### 〈メリット〉

- ・暖かい
- ・足腰の悪い人も寝やすい
- ・個人のスペース
- ・衛生的

#### 〈デメリット〉

- ・水に弱い  
=保管が難しい
- ・数が限られる  
場所をとる

### ワークショップを開いた！

4人1組で2つのベッドを作成 参考文献③

- スーパーで簡単に集めることができた
- 30分ですぐに作ることができた
- 安定感があった

簡単に作ることができる

費用がかからない

床で寝るより楽

ヒモは  
難しい

